

授業科目 臨床医学 I

【担当教員名】		対象学年	1	対象学科	情報
井上 弘樹		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
		【概要】			
臨床医学総論で学んだ基礎を元に、主に消化器、循環器、呼吸器領域における、各臓器の機能及び、主要な疾病の病態生理と症状、診断過程、治療方法、経過と予後の概要を学習する。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 消化器、循環器、呼吸器領域における、主要な疾患名を列挙することができる。 2. 消化器、循環器、呼吸器について、疾病の成り立ちと病態生理を説明することができる。 3. 消化器症状、心血管症状、呼吸器症状の主要なものについて、診断法を概略して記述することができる。 4. 上記の臓器に生じる、主要な疾病の治療と経過を概略して記述することができる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	消化器Ⅰ（消化器の構造と機能）			1	
2	消化器Ⅱ（検査）			2, 3	
3	消化器Ⅲ（食道・胃）			1-4	
4	消化器Ⅳ（肝臓・胆嚢・膵臓）			1-4	
5	消化器Ⅴ（小腸・大腸）			1-4	
6	循環器Ⅰ（心血管の構造と機能）			1	
7	循環器Ⅱ（心臓・血管の検査）			2, 3	
8	循環器Ⅲ（心臓・血管の治療）			4	
9	循環器Ⅳ（心臓）			1-4	
10	循環器Ⅴ（血管）			1-4	
11	呼吸器Ⅰ（呼吸器の構造と機能）			1	
12	呼吸器Ⅱ（呼吸器の検査）			2, 3	
13	呼吸器Ⅲ（呼吸器の治療）			4	
14	呼吸器Ⅳ（呼吸器疾患1）			1-4	
15	呼吸器Ⅴ（呼吸器疾患2）			1-4	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		コメディカルのための専門基礎分野テキスト 内科学（第3版）	北村 諭 他	中外医学社	2008・3,990円
参考書		臨床病態学	佐藤良暢 他	南江堂	2000・5,040円
その他の資料					
【評価方法】 定期試験（筆記）			【履修上の留意点】 教科書に無い部分はスライドやハンドアウトなどで適宜補足する。		